

(社) 日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会  
第4回 水化学管理分科会 (P11SC) 議事録 (案)

1. 日時 2008年9月26日(金) 13:30~17:00

2. 場所 日本原子力発電株式会社 本店 2階 第2会議室

3. 出席者(順不同、敬称略)

【出席委員】勝村(主査)、内田(副主査)、水野、高松、平野、寺地、瀧口、岡田、鈴木、  
中村(年)、高木、磯部、中村(武)、大橋 [14名]

【代理出席委員】太田(黛代理)、西村(荘田代理) [2名]

【欠席委員】佐野、仲田、会沢 [3名]

【常時参加者】渡辺、實重、篠原、松浦、市川、伊東(歩)、久宗、猪俣、笠原、金岡 [10名]

【代理出席常時参加者】浜口(眞田代理) [1名]

【原子力学会・事務局】谷井

4. 配布資料

P11SC-4-1 第3回水化学管理分科会議事録(案)

P11SC-4-2 PWR化学分析作業会委員名簿

P11SC-4-3 「共通事項」、「ほう素」に係るコメント対応一覧表

P11SC-4-4 共通関連事項(原案)

P11SC-4-5 ほう素分析(原案)

P11SC-4-6 フタル酸水素カリウム(KAP)の秤量値桁数について

P11SC-4-7 溶存水素分析法について

P11SC-4-8 放射性よう素分析法について

P11SC-4-9 水化学管理分科会名簿

[参考資料]

P11SC-4-参考-1 第3回PWR化学分析作業会議事要旨(案)

P11SC-4-参考-2 PWR化学分析作業会活動スケジュール(案)

P11SC-4-参考-3 水化学管理分科会の活動状況

5. 議事

(1) 出席委員確認について

中村幹事より、以下の委員について、代理出席委員の紹介があった。

- ・黛委員の代理で太田委員
- ・荘田委員の代理で西村委員

また、出席委員の確認の結果、19名の委員中16名の委員の出席があり、決議に必要な定足数(13名以上)を満足している旨の報告があった。

(2) 人事について

中村幹事より、以下の常時参加者の交代及び常時参加希望者の登録についての紹介があり、全会一致で承認された。（資料【P11SC-4-9】承認）

- ・常時参加者交代 佐藤（篤）常時参加者から篠原常時参加者
- ・常時参加者交代 佐藤（祐）常時参加者から伊東（歩）常時参加者
- ・常時参加者登録 伊藤（重）常時参加者
- ・常時参加者登録 金岡常時参加者

(3) 資料確認について

中村幹事より、議事次第に基づき配布資料の確認を行なった。

(4) 前回議事録の確認について

中村幹事より、資料【P11SC-4-1】に基づき、前回議事録（案）の確認を行い、議事（8）〈ほう素〉に記載の2次系統水の記載を2次冷却材に統一することを含め、全会一致で承認された。

(5) 第33回発電炉専門部会の概要について

勝村主査より第33回発電炉専門部会の状況報告があり、標準委員会の組織変更により水化学管理分科会の成果についてはシステム安全専門部会で議論されるなどが報告された。

(6) 専門部会への報告について

中村幹事より、参考資料【P11SC-4-参考-3】に基づき、発電炉専門部会への分科会活動状況の報告概要について紹介が行われた。また、以下の意見があり確認された。

- ・多数の分析項目のJIS化については、スケジュール案のその1・2・3の単位で、作成が終了したものから、システム安全専門部会及び標準委員会へ報告することとする。
- ・資料中のPWR化学分析標準の構成のうち、「1～5共通関連事項-6～18の分析標準に係る共通事項」を「1～5共通関連事項-6～21の分析標準に係る共通事項」に誤記訂正。

(7) PWR化学分析作業会の活動報告について

水野委員（PWR化学分析作業会主査）より、参考資料【P11SC-4-参考-1】に基づき、第3回PWR化学分析作業会議事録の報告があり、資料【P11SC-4-2】の作業会委員の交代を含めて全会一致で承認された。

(8) PWR化学分析標準（共通事項・ほう素）の審議について

〈共通事項〉

水野委員より資料【P11SC-4-3】及び【P11SC-4-4】に基づき、PWR化学分析標準の共通事項についての前回審議でのコメント事項反映状況等の説明があった。

また、以下の意見があり、作業会で検討することとなった。

- ・「I. 共通関連事項、1. 適用範囲」の対象が広すぎる、また、ほう素は化学管理ではなく反応度管理であるため、「1次冷却材および2次冷却材の分析法」などの記載を検討する。
- ・4. d)は放射線防護に類する記述であるため、6.として独立記載するか、その他法令（毒劇物等）に関する記載に整合を取るなどを検討する。

#### <ほう素>

水野委員より資料【P11SC-4-3】、【P11SC-4-5】及び【P11SC-4-6】に基づき、PWR化学分析標準のほう素分析について前回審議でのコメント事項反映状況等の説明があった。

また、以下の意見があり、作業会で検討することとなった。

- ・ほう素濃度の記載を「mg B/L」に統一する。
- ・「a) 試薬 1)」記載のフタル酸水素カリウム溶解時の水温 $20 \pm 3^{\circ}\text{C}$ について確認をしておくこと。
- ・「6.1 pH滴定法 注(1)、(2)、(3)、(4)」の記載を本文最終に移動
- ・ほう素分析妨害元素で記載の濃度は括弧書きのないもので、測定で使用する試薬濃度の精度と記載要領が異なることから、重量での記載を検討する。
- ・「6.1 電位差滴定法 d) 5)」と「6.2 電位差滴定法 d) 5)」のfNaOH単位を統一する。
- ・「解説、a)操作」において、リチウム(1.5mg/L)などの説明の前に、「ほう素を中和するために補正を要する各元素の等価値は」などを検討し追加する。
- ・解説図6-2のNaOH濃度の記載をmol/Lに修正

PWR化学分析標準を作成するにあたり、標準委員会に報告する項目数からの括りに注意して番号付けを検討すること。

#### (9) 溶存水素、放射性よう素（原理、フロー）説明について

笠原PWR化学分析作業会員より資料【P11SC-4-7】及び【P11SC-4-8】に基づき、溶存水素分析法と放射性よう素分析法について説明があった。

#### (10) その他（次回予定等）

- ・次回分科会は、12月9日（火）を第一候補とし、12月17日（水）を第二候補として、開催する。
- ・次回分科会の議案に「BWR化学管理指針」を追加提案するものとする。

以上